

## 大雪山系に高山植物を覓に

倶知安町 藤田 豊

高山植物といえば、他にきれいな花がたくさんありそうなものなのに何を好き好んでと思われるでしょうが、地味なカヤツリグサ科を覓にわざわざ大雪山へ登ってきましたのでその道中と覓て来た植物の様子をご紹介します。

私がカヤツリグサ科に興味を持ったきっかけは周りの人にはあまり興味を示す人がいなかったという単純な動機で勉強してみようと思ったことです。軽い気持ちでやりだすと、高山に（特に大雪山系）こんなに多くの種があるとは思ってもよらず（山は苦手な私）まずは自宅近くの羊蹄山、ニセコ山系、積丹岬、岩内海岸などを歩きました。本会の五十嵐さんには大変お世話になり、ヨコスト湿原、トキサタマップ湿原、苫小牧海岸、弁天沼、日高門別、判官館森林公園等と約 10 年色々な種を教してもらいながら歩きました。今では特別な種以外は何とか解るようになりました。

そこで、高山で大雪山系にしか確認されていない種を覓たくなりオハグロスゲとヒゲハリスゲを覓に行こうと 1 年がかりで計画しました。もちろん見たいものは他に数種類あるものの、メインはこの 2 種でオハグロスゲの既確認地は北海道の大雪山系のみ、ヒゲハリスゲは本州では白馬岳・八ヶ岳・中央アルプス・南アルプスとありますが北海道では大雪山系のごく一部とされていました。何冊かの専門書を読んでも大雪山系としか書かれていなく特にヒゲハ

リスゲについては詳しい情報はありませんでした。そうなると、なおさら覓たくなりますが、体力も気力もない年齢、まして 2000 m の山を越えて行くのですから大変な場所と悩んで、知人の山岳ガイドに相談したら 2 泊 3 日はかかると言われて絶望的になっていました。それでも、山岳ガイドさんが「荷物を多く持つこと」で計画がやっと実行されることになりました。

2018 年 7 月 24 日 4 時自宅を出発し大雪高原温泉に 10 時頃到着しました。準備を整えて大雪高原温泉登山口より登山を開始しました。第一・第二お花畑を抜けて大きな雪渓を 2 ヲ所越えていくと緑岳 (2090 m) が見えます。絶壁のような石の山です。ここが一番きつかった。しかし登りきると、初めて覓る高山植物がたくさんありました。エゾタカネスミレ・エゾタカネツメクサ・エゾヒメクワガタ・エゾマメヤナギ・



図1 大雪山高根ヶ原 2018.7.25